

## 山村留学生在手作業で体験 実りの秋のワイン仕込み

10月5日、山村留学生10人が町の特徴を学ぶ体験の一つとして、ヤマブドウの収穫や選別、破碎などのワインの仕込み作業を体験しました。

鍋倉地区での収穫作業では、1時間ほどで49.5kgのヤマブドウを収穫。その後、(株)くずまきワイン内で、キャンベル54kgを加えた総重量約100kgのブドウの選別や破碎を手作業で行いました。ブドウを手や足でつぶす作業を行った生徒は、初めての感触に思わず声を漏らしていました。

参加した生徒は、町の特産品であるワインの原料生産から加工、製造までの過程を五感で感じ、より一層の興味と理解を深めました。



丁寧にヤマブドウを収穫する山村留学生とヤマブドウの破碎作業の様子（円内）

## 町内企業ガイダンス開催 企業の魅力を直接感じる

担当者へ積極的に質問する生徒たち



くずまき雇用サポートセンターが主催する葛巻高校町内企業ガイダンスが10月8日、ふれあい宿舍グリーンテージを会場に開催され、1年生36人と町内の19事業所が参加しました。

各事業所からの概要説明の後には、各事業所ブースを巡る時間が設けられ、生徒たちは担当者へ直接質問。領いたり熱心にメモを取るなど、その魅力に触れました。和野友哉さんは「各事業所のやりがいや仕事への思い、責任など、それぞれの視点から学ぶことができた」と実りある時間になった様子でした。

商品魅力を説明するの

「お喋りマーケティング」の取り組みでは、本番まで大変なことがたくさんありました。一番大変だったのは、仕入れです。仕入れを承諾いただけの企業を見つければなりませんが、話をかけ続けなければなりません。企業の方に前向きに検討してもらえるよう、私たちの取り組みや取引する上での重要な点を分かりやすく説明することを意識しました。



葛巻高校オリジナルのほんでん姿で販売

葛巻高校A組の「お喋りマーケティング」に参加し、有意義な経験ができたことをとてもうれしく思っています。今後の取り組みも楽しみです。

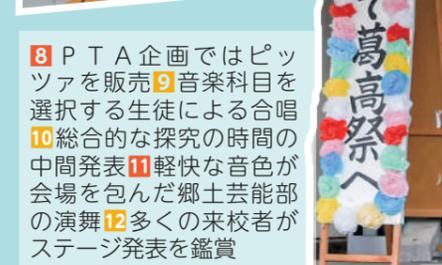
### 葛巻A組ならではの！ 商業科目の取り組み

#### 高校生記者 レポート

今月の担当  
角 紅春（2年）

▼10月11日、12日に行われた町民まつりに葛巻高校2年A組が「お喋りマーケティング」を出店しました。商業科目の一環で、仕入れから販売まで、私たち生徒が行いました。

には苦戦しましたが、とても楽しく接客することができました。また、仕入れから販売までを体験して、相手に対して伝えたいことを的確に話すことの難しさと大切さを学ぶことができました。将来にとても役に立つ経験をするのができたと感じています。



## 第56回 葛高祭 楽しいだけじゃ だめですか？

1 クラス展示を楽しむ生徒たち 2 お化け屋敷に挑戦した中学生 3 緑日を模したクラス展示に熱中する子ども 4 全国各地の銘菓を集めたお喋りマーケットは盛況 5 各クラスの個性が溢れる垂れ幕 6 大忙しの模擬店の合間に1枚 7 数多くの卒業生も来校

第56回葛高祭が9月26日と27日の2日間にわたり開催されました。27日に行われた一般公開では、生徒の家族や卒業生、地域住民など多くの来校者でにぎわい、学校内は活気に溢れました。

ステージでは音楽選択者による合唱や郷土芸能部による演舞、総合的な探究の時間の中間成果を発表。会場からは大きな拍手が送られました。校内は各クラスの展示や模擬店、授業の成果発表など工夫を凝らした企画が並び、来校者や生徒たちの笑顔の輪が広がっていました。

